

羽生市立羽生南小学校

理科

単元名 もののとけかた 第5学年



既習事項の確認



児童の思考を意識した導入

参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

【授業について】

○今回の授業は、「もののとけかた」の単元でしたが、質量保存の法則について関連する内容であり、指導の参考になりました。児童が主体的に学ぶ姿勢を見て、先生の日頃の指導についても学ばせていただきました。

○ICTの活用の仕方、3学年の学習内容と結びつけた展開の重要性、考察の仕方など大変参考になりました。

○自分自身も予想→結果→考察を児童自身に書かせることを心掛けて授業を行っているので、間違っていないと確信することができました。

○私は、理科の授業をなかなか見せていただく機会がない中で、自分の授業を行ってきました。予想や結果、まとめの部分が実験に比べて、しっかりできていない時もありましたが、今日の授業の進め方など、とても勉強になりました。タブレットの活用もやってみたくと思いました。

○先生の児童達への態度（優しい雰囲気、明るい声かけ）など、児童が安心して授業にのぞめる授業づくりが良かったです。ICT、板書、ホワイトボードの効果的な活用等、参考になりました。

○準備、単元の組み立て、授業展開等、大変勉強になりました。結果を交流することをすぐにとり



予想の時間の確保

います。

○普段、行っている授業をより良くするための技術がたくさん入っていて、参考になりました。

○話し合いの目的意識がないままだと、児童自身が受け身になってしまうので、話し合いたい気持ちにさせないといけないと思いました。

【協議について】

○研究授業について、具体的にご指導いただいたので、参考になりました。勤務校の理科を担当する教員に伝達します。

○異なる市町や経験年数の先生方と協議することができ、自分では気づかなかった授業の良い点や課題を知ることができました。

○この授業エキスパートを目指す授業研究会への参加は、算数に続いて2回目になるのですが、全ての先生方が「もっとよくなるには」という視点で授業を見て、協議しているので、自分も思ったことを素直に言うことができます。とても良い協議だったと思います。協議の時間がもう少し短くても良いと思います。

○他の先生方の考えを聞いて、単元の進め方等について違いがあることなどを学ばせていただきました。



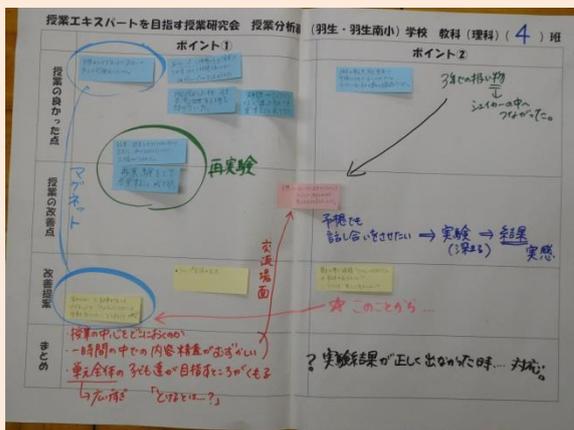
児童が考察を考える時間



構造的な板書



事前に示された『私の授業の観てほしいポイント』に沿った研究協議



授業分析表